

東京おもちゃ美術館のウッドスタート活動について

「ウッドスタート」は東京おもちゃ美術館が提案する木育の行動プランです。誕生祝品として日本の木のおもちゃを子どもたちに届けることによって、子どもたちの育つ環境に木を取り入れ、心を育みます。そしてその子どもたちや周りの大人が少しずつ日本の木や森に目を向け、持続可能な社会の実現への第一歩となることを目指します。



福岡おもちゃ美術館について

ららぽーと福岡オーバルパーク内にて 世代を超え、笑顔を生み出す「木育」おもちゃ美術館

カラダ全体で感じる「木育」美術館

福岡・朝倉の100年ヒノキのフローリングなど、館内には福岡県産木材をふんだんに使用。一歩足を踏み入れるだけで木の香りを感じられる「木育」おもちゃ美術館です。

みんなに優しいインクルーシブ美術館

赤いエプロンを着た「おもちゃ学芸員」が来館者の皆様をおもてなしします。遊び方を伝えることはもちろん、老若男女問わずコミュニケーションを楽しめる「インクルーシブ」美術館です。

地域の魅力を伝える美術館

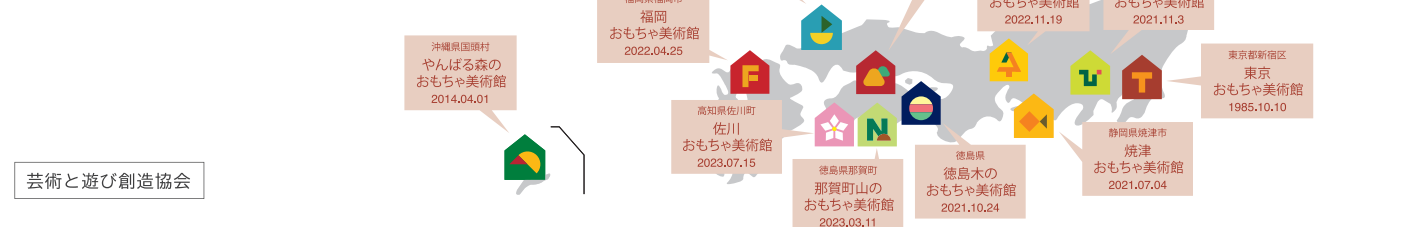
日本有数の家具の産地である大川家具とコラボレーションしたギャラリー、日本の木のおもちゃにこだわったミュージアムショップなど、地域、そして日本の魅力を伝えていきます。

福岡おもちゃ美術館



全国に広がる木育推進拠点 姉妹おもちゃ美術館

東京おもちゃ美術館では、親子などの「多世代交流推進」と木のおもちゃや空間木質化による「木育推進」を行っており、現在我々は、このコンセプトにご賛同いただいた皆様と共に、地域ならではの自然と文化の魅力溢れる姉妹おもちゃ美術館の設立を進めています。



木育サミットin 福岡あさくら

2024年11月30日(土)

第1部 11:00-12:00 (関係者のみ)

第2部 12:30-16:30 (一般参加者)

※ 一般参加者の受付は11:30～大ホールホワイエにて行います。

会場 ピーポート甘木
福岡県朝倉市甘木198-1

参加費 無料

参加申込

木育サミット公式ホームページの
申込フォームよりお申込ください。

参加申込フォームは
こちらのQRコードから



お問い合わせ：特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会 Tel:03-5367-9601 Fax:03-5367-9602 (木曜定休) Email:mokuiku@art-play.or.jp

東京おもちゃ美術館 福岡おもちゃ美術館 芸術と遊び創造協会 林野庁補助事業

主催：特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会（東京おもちゃ美術館・福岡おもちゃ美術館）
共催：一般社団法人 グリーンコープ共同体／グリーンコープ生活協同組合ふくおか 後援：福岡県／朝倉市／公益財団法人 森林文化協会／朝倉森林組合／朝倉木材協同組合／一般財団法人 地域活性化センター／（一社）福岡県木材組合連合会／国際木文化学会／一般社団法人 日本木文化学会／一般社団法人 全国木材組合連合会／日本木材青壮年団体連合会／一般社団法人 日本林業協会／一般社団法人 全国林業改良普及協会（申請中含む）

主催者挨拶

木に親しみ、木を活かし、木と共に生きていく「木育」の活動を、多くの方知ってもらうための「木育サミット」。12回目となる今回の「木育サミット」は、2017年に起きた九州北部豪雨の被災地でもある朝倉市で開催することで、森と都市をつなぐことの意味を考えます。豊かな暮らしの条件でもある「水」は、その森が育む。暮らしを彩る木製品も、森からやってくる。持続可能な社会を実現するためにも重要な役割を果たす森と都市をつなぐための「木育」について議論を交わします。



特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会
理事長 多田 千尋

プログラム

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
11:00 12:00 ウッドスタート トークセッション	12:30 開会・挨拶 15分	12:45 13:15 基調講演 30分	13:20～14:40 シンポジウムⅠ 80分	大ホール 中ホール	15:00～16:10 分科会① シンポジウムⅡ 70分 15:00～16:10 分科会② シンポジウムⅢ 70分	クロージング 10分
ホワイエ	展 示			分科会③		

12:45～13:15 基調講演

子どもの発達と木育の可能性



寺床 勝也
鹿児島大学 教育学部 技術科木材加工研究室 教授
鹿児島大学卒業・熊本大学大学院修了後、熊本県の中学校教諭、鹿児島大学農学部助手を経て、現在、鹿児島大学教育学部教授。森林・林業と教育の関係性について自問自答しながら「木育」の可能性について研究を進めています。現在は「ティンカリング」を導入した幼児向け木育活動を目指したもののづくり教育について考察しています。

福岡おもちゃ美術館・赤ちゃん木育ひろばから見た“木育”のこれから



石井 今日子
おもちゃ美術館エグゼクティブディレクター／福岡おもちゃ美術館 初代館長
保育士・幼稚園教諭の経験を生かし、2008年東京おもちゃ美術館立ち上げ、赤ちゃん木育ひろば運営に携わる。おもちゃを活用した子育て支援事業「おもちゃの広場」「赤ちゃん木育寺子屋」開催。企業のコラボにより無印良品「木育広場」。日本財団との共同事業 難病児向けおもちゃセット「あそびのむし」など。Eテレ「まいにちスクスク」出演。

13:20～14:40 シンポジウム 市民協働と木育 ～山や森を身近に感じるために～

木育の推進は、あらゆる方々と協働しながら進める必要がある。自治体、民間企業、非営利団体など、様々な組織の事例を紹介し、本木育サミットの全体テーマである「森と都市をつなぐ」ために、どのように市民を巻き込みながら、木育を推進していくのかについて考える。

シンポジスト



青山 豊久
林野庁 長官



金原 望
株式会社未来工房 代表取締役



坂本 寛子
グリーンコープ生協ふくおか
理事長



林崎 理
一般財団法人 地域活性化センター
理事長



馬場 清
特定非営利活動法人
芸術と遊び創造協会 事務局長

コーディネーター

15:00～16:10は、本ページ記載の3つの分科会のいずれかにご参加ください。

※参加申込時に、分科会を選択していただきます。

※各分科会に定員がありますので、定員に達し次第、締め切らせていただく場合がございますこと、ご承知おきください。

大ホール

15:00～16:10 分科会① シンポジウム 地域活性化と木育

木育は地域活性化の切り札になるのか。全国の先進的な事例を紹介しながら、木育が地域課題解決のために、どのように役立っているのかについて探る。



穴井 徹
熊本県小国町 産業課長



尾方 義人
九州大学大学院
芸術工学研究院 教授



佐々木 一弘
オークヴィレッジ株式会社 取締役



青野 裕介
株式会社 Tree to Green
代表取締役
【コーディネーター】

中ホール

15:00～16:10 分科会② シンポジウム 親子に伝える木育

全国に広がるおもちゃ美術館は、「森と都市をつなぐ装置」である。おもちゃ美術館に関わる様々な方々の話を聞きながら、親子にどんなメッセージを伝えているのかについて探る。



岡崎 明子
佐川おもちゃ美術館 館長



田口 真嗣
株式会社 ON-WIPPS 代表取締役
特別非営利活動法人
自然体験活動推進協議会 常任理事
安全部会長



平野 裕幸
株式会社小友木材店 営業部長
花巻おもちゃ美術館 初代館長



星野 太郎
東京おもちゃ美術館 副館長
木育推進事業部長
【コーディネーター】

ホワイエ

分科会③は1ブースあたり20分間のショートセミナーを3ブース分、参加していただけます。

15:00～16:10 分科会③ 木育体験 & ショートセミナー

酒井産業株式会社	ロボ木ーから分かる木と森の事！ 森の樹木は、空気中のCO2を吸って、木材を作る「光合成」って、みんな知ってるかい？ 木材から生まれて、人類と地球を救う「エコ・ロボ木ー（るぼきー）」は三刀流の優れモノ。ロボ木ーを楽しく作って、「木育」を体感してください。
社会福祉法人 宗友福祉会 うさぎ堂	おもちゃ制作と林福連携で進める木育 愛媛県松山市に拠点がある社会福祉法人宗友福祉会の木工所うさぎ堂の「林福連携」の取組を紹介します。林業と福祉をつなげながら、利用者さんそれぞれの特性も活かされる木のもののづくりについて、お話しさせていただきます。
OKAWA FACTORIA	福岡県産材を利活用した子どもの遊び環境づくり 福岡県産材で制作したおもちゃセットを通して、地域材にこだわった子どもの遊び環境づくりをお話します。
株式会社 未来工房	地域主義工務店が地域とつながり展開する木育活動 未来工房は「家は生きる基盤になるもの」と捉え、オール国産材の家づくりにこだわって取り組んでいます。大人が本当に良いと思う家づくりや木育イベントを実施、子どもにその良さを伝え、次世代につなげることを意識しています。私たちが行っている次世代に伝える「木育」についてお話しさせていただきます。
生活アートクラブ	わたしたちにできる脱炭素 植える、育てる、面倒（間伐）を見る、正しく使う、で健康な森を広げる取り組みを、積み木「もくロック」や「間伐材製品」を通して伝えます。
福岡県木材青年連合会	セーザイゲームで学ぶ木育 伐採された木が実際に製材される過程で、どのようにして価格が決まるのか体験できます。原木市場での丸太の競りや、木取りによる丸太や製材品の価値を学ぶことができます。子どもから大人まで、さらには木材関連業界や林業の専門家、教育関連の方にも幅広く親しまれています。セーザイゲームは2つのステージで構成されています。前半で、製材を直感的に理解し始め、後半では技術と戦略が洗練されます。ぜひ、体験してみてください。



プログラムの詳細は、木育サミットのホームページで随時更新していきます。
URL : <https://www.mokuikulabo.com/asakurasummit>

